ECOVACS

DEEBOT T50 OMNI

取扱説明書/Instruction Manual

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、取扱説明書を必ずお読みください

本取扱説明書は大切に保管してください

1. 本製品は、身体能力、感覚能力、または知力に障がいをお持ちの方、経験や知識の少ない方（お子様を含む）の使用を想定していません。ただし、上記の使用者の安全について責任を負う方により、本製品の使用方法に関する指導または説明を受けている場合には、お使いいただけます。
2. お子様が本製品を使って遊ばないようにご注意ください。
3. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から持ち上げてください。
4. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまずかないように注意してください。
5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境（-5°C 未満または 40°C 超）では使用しないでください。
11. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引

火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
15. 燃えている、または煙が出ている物体（タバコ、マッチ、熱い灰など）を本製品に吸わせないでください。発火の原因となります。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
19. CH2453Bに適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数 8 個、最大公称電圧 DC 14.4V、定格 4,800mAh です。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
20. 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
23. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
24. ご使用環境の電源の電圧が、全自動クリーニングステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび全自動クリーニングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
26. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や全自動クリーニングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
27. 全自動クリーニングステーションが損傷している

場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。

28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または全自動クリーニングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあった場合は、本製品または全自動クリーニングステーションを使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
29. 全自動クリーニングステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を全自動クリーニングステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. 全自動クリーニングステーションを長時間使用しないときは、電源を切ってください。
32. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、全自動クリーニングステーションから外して保管してください。
33. 警告 - 洗浄水タンクにはきれいな水だけを追加してください。
34. **警告：**バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2453B を必ず使用してください。

高周波（RF）曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離したままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。

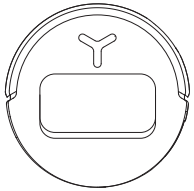
一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

	注意：表面が熱くなります
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

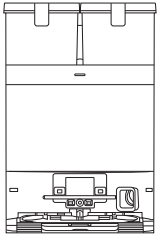
リモート監視は、非公開の私有地において、純粋な自己防衛と単独の管理を目的とした絶対的な私的使用のためのものです。ご利用の際には、現地のデータ保護に基づく法的義務にご注意ください。公共の場所の監視は行わないでください。特に、正当な理由なく、秘密裏に、または雇用主側による監視は行わないでください。このような不当な使用は、ユーザーのみがリスクと責任を負うことになります。

パッケージ内容

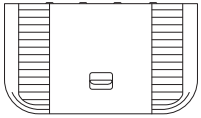
❶ パッケージ内容



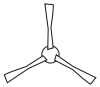
ロボット



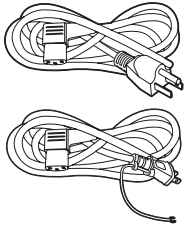
OMNI ステーション(ダストバッグ付き)



ベース



サイドブラシ



電源コード

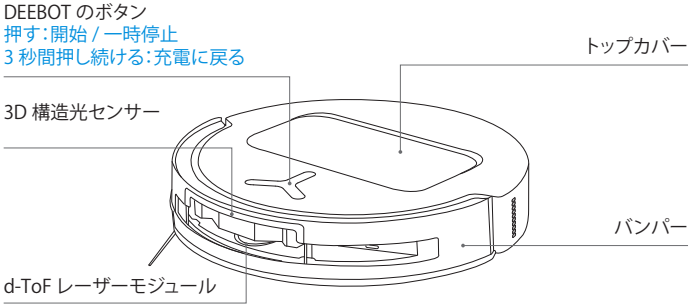


取扱説明書

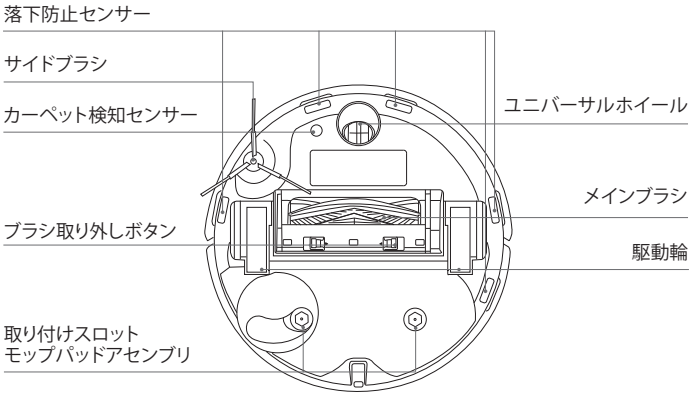
注記: 図やイラストは参考用であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

❷ 製品図

1. ロボットの正面図

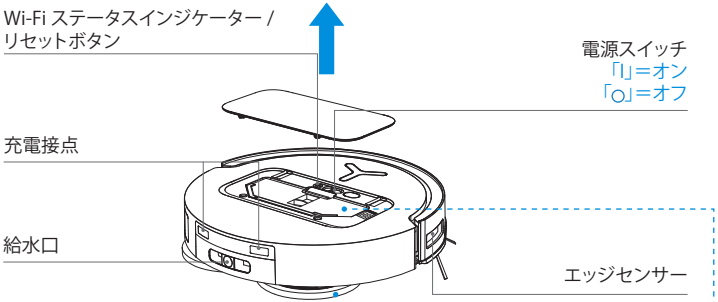


2. ロボットの底面図

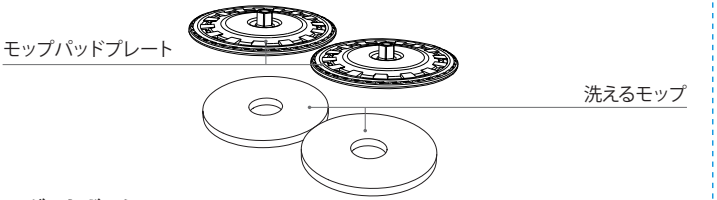


3. カバーの下

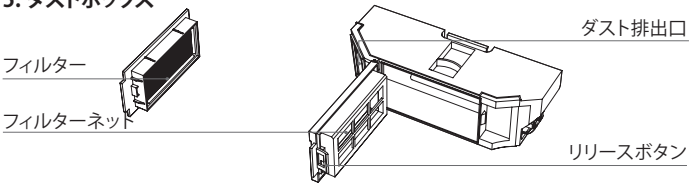
リセットボタン
ネットワーク設定：RESET ボタンを押し、音声プロンプトに従ってネットワークを設定します。
デフォルト設定に戻す：RESET ボタンを 5 秒間押し続けると、プロンプト音が聞こえます。その後、起動音楽が再生され、ロボットはデフォルト設定に復元されます。



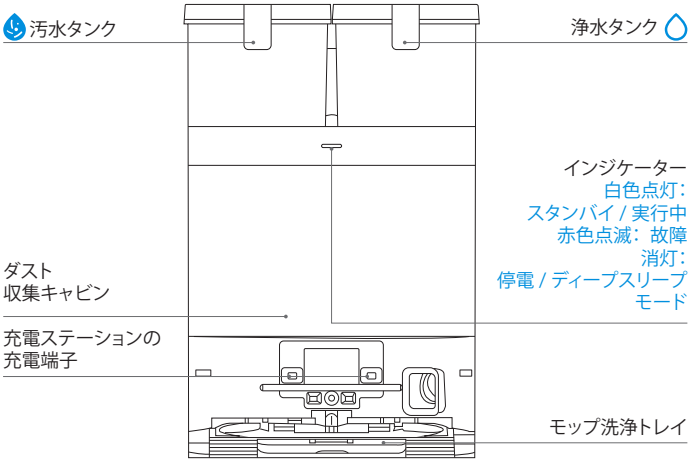
4. モップパッドアセンブリ



5. ダストボックス



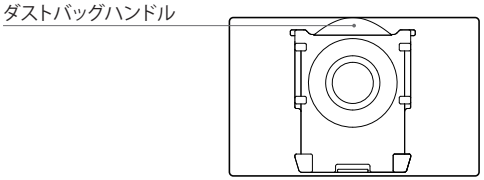
6. ステーション正面図



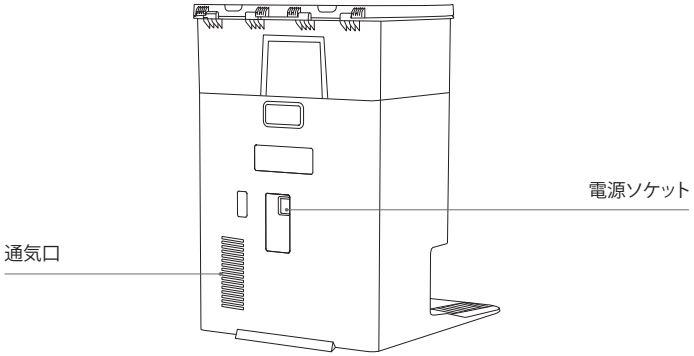
注記：

- インジケーターが赤く点滅する場合は、ECOVACS HOME アプリで故障の詳細を確認してください。
- ロボットが充電できない場合は、OMNI ステーションの該当する充電端子を乾いた布で拭いてください。

7. ダストバッグ



8. ステーション背面図

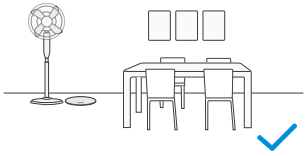


9. センサー

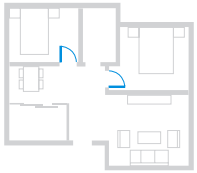
製品図	機能説明
d-ToF レーザーモジュール	レーザー測距は、反射の時間差に基づいてロボットと周囲の物体との距離を測定し、ロボットが移動している間に周囲の物体をマッピングできるようにします。検知範囲は 10m です。
3D 構造光センサー	赤外線測距と相似三角形を用いて、周囲の物体とロボット間の距離を測定します。 センサーが近くの物体を検出すると、ロボットは自動的に方向転換して物体にぶつからないようにします。検知範囲は 0.4m です。
落下防止センサー	ロボット底部のセンサーが赤外線測距を行い、ロボットの底面と床面との高さを測定します。高低差がある場合、例えば白色の地面では高さが 55mm 以上、黒色の地面では高さが 30mm 以上になると、ロボットは前進を停止し、落下防止機能が働きます。
カーペット検知センサー	超音波プローブは 300KHZ の超音波を放射でき、超音波のエネルギーはカーペットに吸収されます。反射エネルギーが閾値を下回る場合、ロボットはカーペットの存在を認識します。ECOVACS ラボのテストによると、現在市場で販売されている 50 種類以上のカーペットを識別できます。
衝突防止センサー	送信された信号が物体によって遮られると、信号受信機はそれを受信できなくなります。この原理により、ロボットは障害物に遭遇したときにそれを回避します。
エッジセンサー	赤外線測距により、ロボットは自身と右側にある物体との距離を検出できます。右側に壁や障害物がある場合、ロボットはエッジクリーニングを実行して、見逃しや衝突を回避します。
マイクロフォン	人間の声は、空気を介してマイクの振動板を振動させます。その結果、マイクはサウンドモデルのコレクションとアルゴリズムを利用して、音声の録音とロボットの音声制御を実現し、特定のタスクを完了します。有効なウェイクアップ距離は 5m です。

掃除前の注意事項

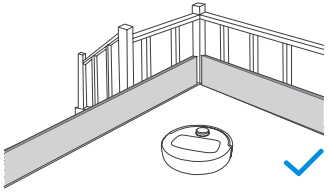
❶ 掃除前



掃除するエリアを整理し、椅子などの家具を適切な場所に配置してください。



初めて使用するときは、ロボットが家中を隅々まで探索できるように、各部屋のドアが開いていることを確認してください。



ロボットが段差から落下しないように、段差の端に物理的な障壁を設置する必要がある場合があります。



床にあるケーブル、布、スリッパなどは片付けると、掃除の効率が向上します。



掃除する前に、タッセル付きのラグの端を下に折り込んでください。



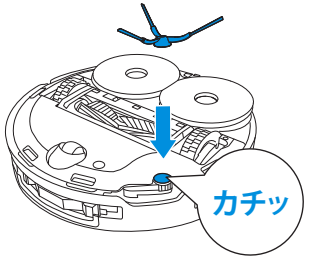
出入り口や廊下などの狭い場所に立たないでください。また、ロボットがエリアを識別しているときは、ロボットの進路を妨げないようにしてください。

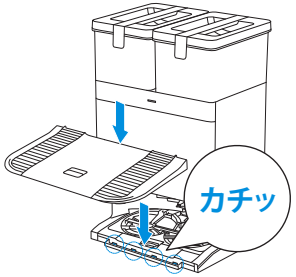
❷ クイックスタート

使用する前にロボットとOMNIステーションからすべての保護材を取り外してください。

1.ロボットとステーションの設置

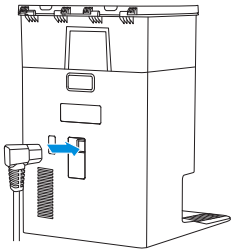
「カチッ」という音が聞こえたら、正しく取り付けられたことを示します。

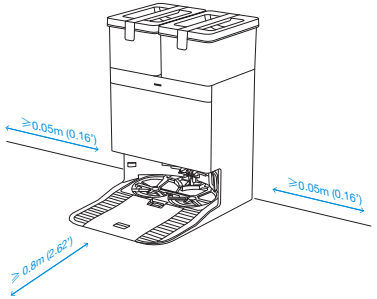




2.電源コードの接続とステーションの配置

ステーションを平坦で硬い床の上に置き、壁に寄せて設置してください。両側0.05m以内、および前方0.8m以内に物体がないことを確認してください。



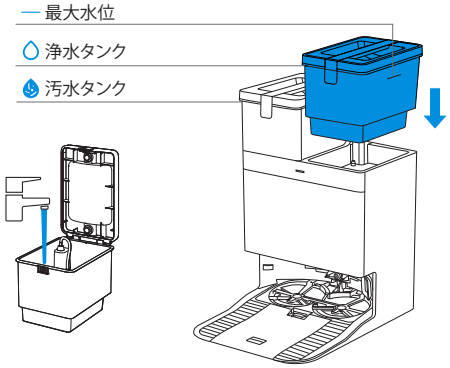


注記:

- ステーションの近くに鏡や反射する巾木がある場合は、地面から 14cm の高さまでそれらを覆ってください。
- ステーションを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- Wi-Fi 信号が強い場所にステーションを設置してください。

❸ クリーンウォータタンクに水を入れる

クリーンウォータタンクを取り出し、最大水位まで水を満たします。タンクに水を入れた後、カバーをロックしてステーションに戻してください。

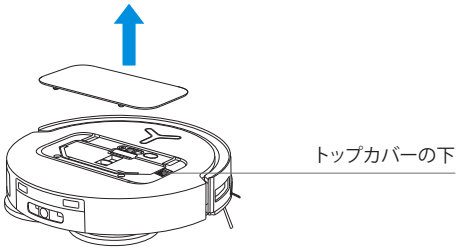


注記:
- タンクを設置する前に清潔な乾いた布でタンクの表面の水分を拭き取ってください。
- 使用前に両方の水タンクの上部カバーをしっかりとロックしてください。
- 水タンク内に水跡がある場合は機能テストによるものですご安心してご利用ください。
- 機械の故障を防ぐため、ECOVACS 純正クリーニング液のみを使用してください。ご購入は ECOVACS HOME アプリまたは ECOVACS 公式ウェブサイトをご覧ください。

❹ ECOVACS HOME アプリをダウンロード

より多くの機能を楽しむには、ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてください。

ロボットの QR コードをスキャンしてアプリをダウンロードできます。



または、モバイルアプリストアで ECOVACS HOME を検索してアプリをダウンロードしてください。

Download on the App Store

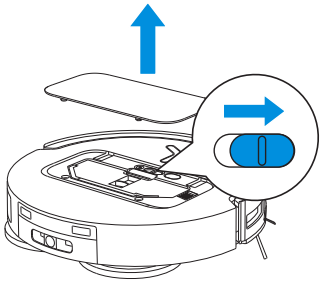
Get it on Google Play

» ECOVACS HOME

注記: アプリのガイドに従って登録、ログインし、製品をアプリに接続します。

5 DEEBOT の電源をオンにする

ロボットカバーの下にある電源スイッチをオンにします(「I」=オン、「○」=オフ)。それから、電源に接続されたステーションの前にロボットを置いてください。



6 DEEBOT をアプリに接続する

ネットワークインターフェース情報

名称	説明
Wi-Fi*	アプリとロボット間のデータ転送を容易にし、アプリを通じてロボットを制御可能にします。
ECOVACS HOME アプリ	ECOVACS 製品は、ネットワーク設定、マッピング、クリーニングモードの選択(製品ごとに異なります)などのスマートな機能を提供します。これらの機能を利用するには、ユーザーは公式の ECOVACS HOME アプリをダウンロードして使用する必要があります。

* DEEBOTシリーズのロボット掃除機は、家庭内の清掃を想定しています。動作には家庭用Wi-Fiネットワークが必要であり、ユーザーはルーター設定を通じてDDOS対策を行う必要があります。

Wi-Fi ネットワーク要件:

- 2.4GHz または 2.4/5GHz 混合ネットワークを使用しています。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルをサポートしている必要があります。
- VPN(仮想プライベートネットワーク)やプロキシサーバーは使用しないでください。
- 非公開のネットワークを使用しないでください。
- TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化を使用する WPA および WPA2 をサポートしています。
- WEP EAP(エンタープライズ認証プロトコル)はサポートされていません。
- 北米では Wi-Fi チャネル 1 ～ 11北米以外ではチャネル 1 ～ 13 を使用してください(現地規制機構に従ってください)。
- ネットワークエクステンダー / リピーターを使用している場合、ネットワーク名(SSID)とパスワードはプライマリネットワークのものと同じです。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

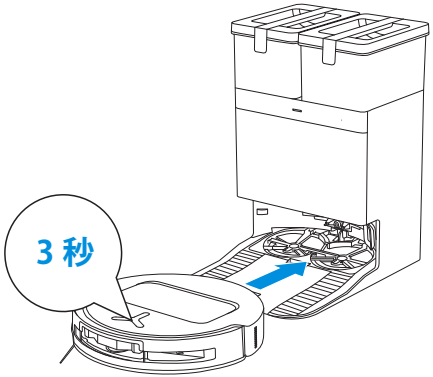
Wi-Fiインジケーターライト

	白色の素早い点滅	接続中
	白色のゆっくりした点滅	Wi-Fi から切断されました
	白色の点灯	Wi-Fi に接続

リモート起動、音声操作、2D/3D マップ表示および制御設定、パーソナライズされた清掃など(機能は製品によって異なる場合があります)のスマート機能を利用するには、継続的に更新される ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてご使用ください。当社がお客様の基本的な必要情報の一部を処理し、ECOVACS HOME アプリ経由で製品を操作できるようにするには、お客様は当社のプライバシーポリシーとユーザー契約に同意する必要があります。お客様の同意がなければ、前述のスマート機能の一部はECOVACS HOME アプリからアクセスできません。ただし、手動操作では製品の基本機能を引き続き使用できます。

❼ DEEBOT を充電

ECOVACS HOME アプリや音声コントロールを使ってロボットを呼び戻すか、DEEBOT 上のボタン ⏻ を 3 秒間長押しして、ロボットが充電のためにステーションに戻るようにしてください。



注記：

- 電源がオフになっているとロボットは充電できません。
- ロボットが動作していないときは、電源をオンにして充電しておくことをお勧めします。
- ロボットはステーションから掃除を開始することをお勧めします。清掃中はステーションを移動しないでください。

❽ DEEBOT を操作する

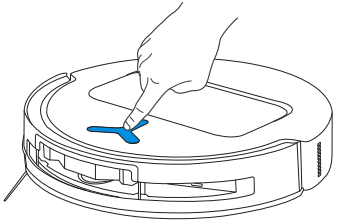
1. マッピングを開始

初めてマップを作成するときは、ロボットに付き添い、いくつかの小さな問題を解決してください。
たとえば、ロボットが家具の下の狭いスペースに閉じ込められてしまった場合は、次の解決策を参考にしてください。
①可能であれば、家具を上げてロボットの通路を確保します。
②ロボットが侵入するのを防ぐために、家具の下部を覆います。
③ロボットの侵入を防ぐために、アプリで仮想境界を設定します。

2. 掃除を始める

- ロボットの水タンクはステーションを通じて自動的に補充されます。手動で補充する必要はありません。
- モップがけをするとき、ロボットは床の種類を認識し、カーペットに遭遇すると自動的にモップを持ち上げることができます。毛足の長いラグや、繊維の長さが 10mm を超えるカーペットの上でロボットを使用しないでください。掃除中は、毛足の長いラグや繊維の長さが 10mm を超えるカーペットを折りたたむか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界を設定して毛足の長いカーペットのエリアを立ち入り禁止ゾーンに設定することをお勧めします。

初めて掃除する前に、ロボットがステーションに設置され、完全に充電されていることを確認してください。ロボット上の ⏻ をタップして開始します。ECOVACS HOME アプリまたは音声コントロールを使用して開始することもできます。



注記：

- 洗えるモップパッドを頻繁に取り外さないでください。
- モッピングパッドプレートを傷つけないよう、布や他の物で擦らないでください。
- ECOVACS HOME アプリでモップの交換が必要と通知された場合、適時に交換してください。その他のアクセサリーは ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com でご覧ください。

3. 一時停止

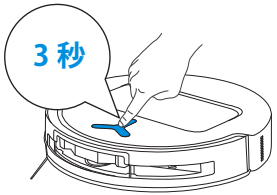
ロボット上の ⏻ をタップして、作業中に一時停止します。ECOVACS HOME アプリまたは音声コントロールを使用してロボットを一時停止することもできます。

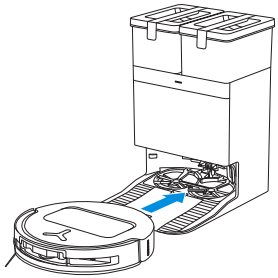
4. ウェイクアップ

しばらく停止すると、ロボットのすべてのインジケーターライトが消灯します。ロボットを起動するには、⏻ を押してください。

5. ステーションに戻る

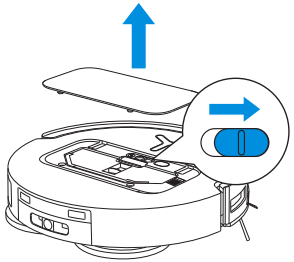
ECOVACS HOME アプリや音声コントロールを使ってロボットを呼び戻すか、DEEBOT 上のボタン ⏻ を 3 秒間長押しして、ロボットが充電のためにステーションに戻るようにしてください。





6. ディープスリープモード

ロボットはステーションの外に約 5 時間滞在すると、バッテリーを保護するためにディープスリープモードに入ります。ロボットを起動するには、電源をオフにしてからオンに切り替えてください。



定期メンテナンス

❶ メンテナンス頻度

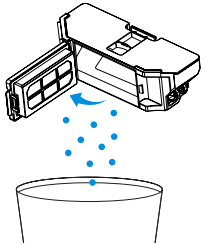
最適なパフォーマンスを確保するには、次の頻度で部品のメンテナンスと交換を行ってください。

部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップ	/	1 ～ 2 か月ごと
ダストバッグ	/	アプリが通知したら
サイドブラシ	2 週間ごと	3 ～ 6 か月ごと
メインブラシ	毎週	6 ～ 12 か月ごと
フィルター	毎週	3 ～ 6 か月ごと
3D 構造光センサー ユニバーサルホイール 落下防止センサー バンパー DEEBOT の充電接点 OMNI ステーションの充電接点 d-ToF レーザーモジュール	約毎月	/
浄水タンク	3 ヶ月ごと	/
汚水タンク	毎月	/
集塵キャビン	毎月	/
ステーション本体と底面	毎月	/

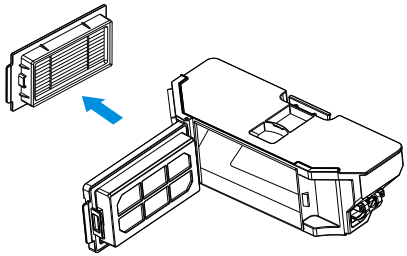
注記：その他のアクセサリーは ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com でご覧ください。

❷ ダストビンのメンテナンス

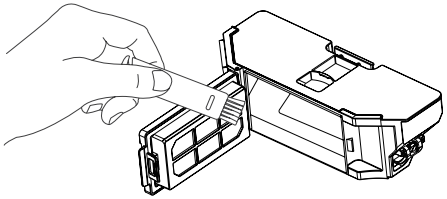
1.カバーを開けてダストビンを空にします。



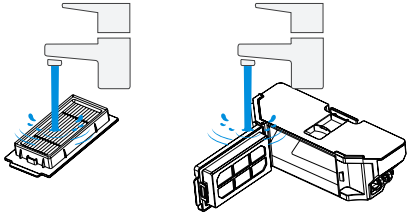
2.フィルターを取り出します。



3.ダストビンを掃除してください。

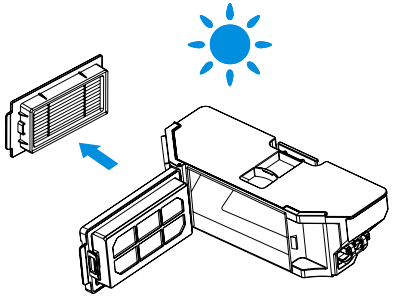


4.ダストビンとフィルターは流水で洗うことができます。部品に残った水を振り落とします。



注記:
• フィルターを水で洗い流してください。
• フィルターを掃除する際に、指やブラシを使用しないでください。

5.風通しの良い場所で乾燥させます。

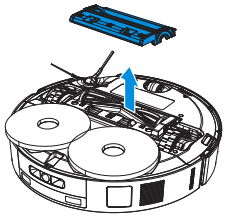


注記:その他のアクセサリーは ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com でご覧ください。

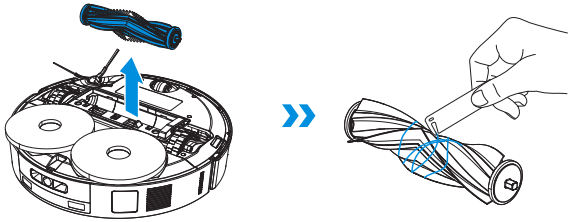
❸ メインブラシとサイドブラシ

メインブラシを清掃します。

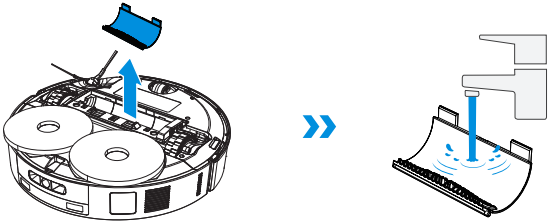
1.メインブラシのカバーを取り外します。



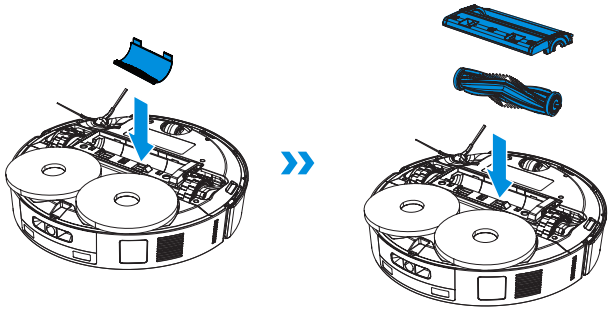
2.メインブラシを取り外して清掃します。



3.ブラシコームを取り外して洗浄します。

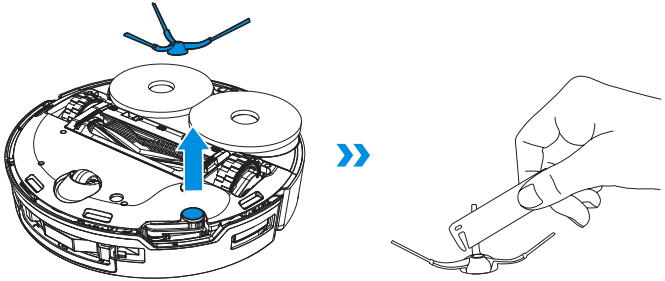


4.ブラシコーム、メインブラシ、およびそのカバーを取り付けます。



サイドブラシを掃除する

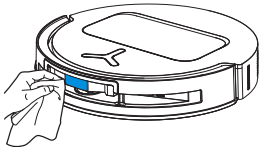
サイドブラシを取り外して清掃します。



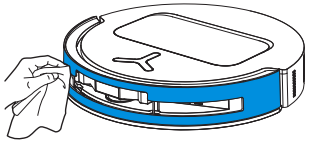
注記: その他のアクセサリーは ECOVACS HOME アプリまたは https://www.ecovacs.com でご覧ください。

❹ その他のコンポーネントのメンテナンス

センサーレンズを清掃する

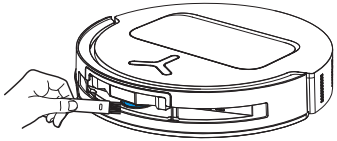


バンパーを清掃します。



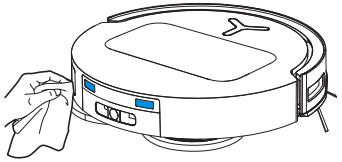
注記: センサーレンズとバンパーを乾いた布で拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れた布の使用は避けてください。

d-ToF レーザーモジュールのクリーニング



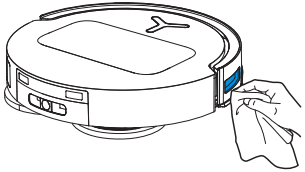
注記: モジュールレンズを前方に回転させ、柔らかいブラシで優しく清掃します。

充電接点を清掃する

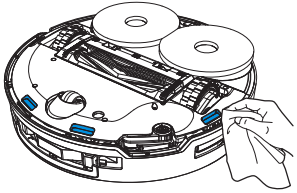


注記：乾いた布で接点を拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れた布の使用は避けてください。

エッジセンサーを清掃する

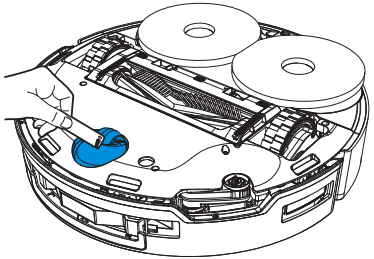


落下防止センサーを清掃する

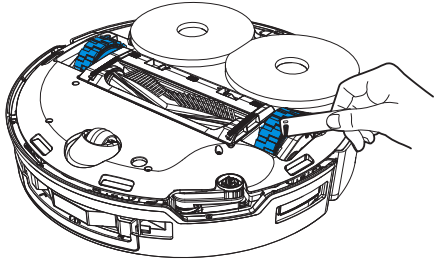


注記：センサーレンズとバンパーを乾いた布で拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れた布の使用は避けてください。

ユニバーサルホイールを清掃する

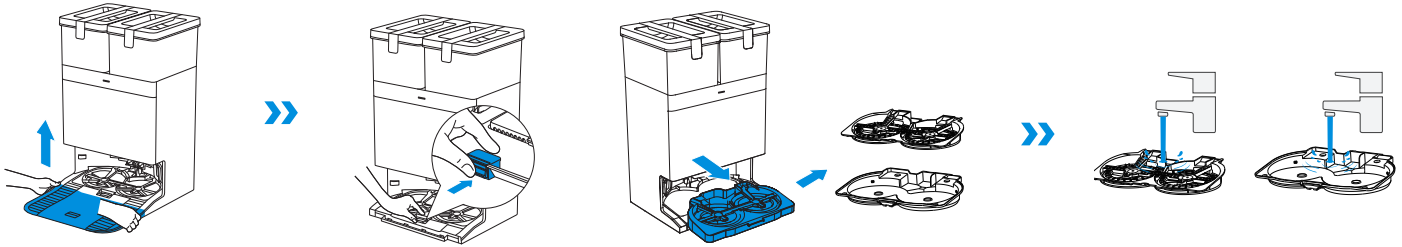


駆動輪を清掃する

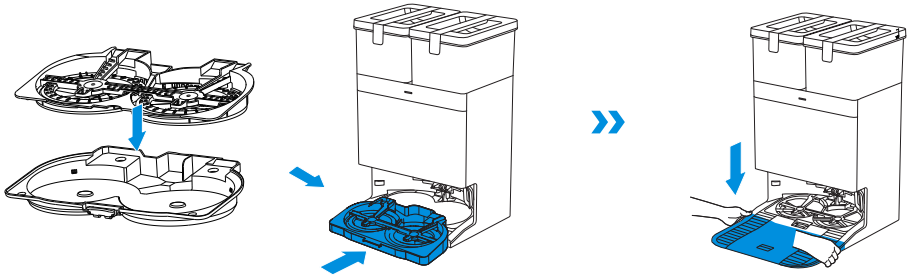


❺ モップ洗浄トレイ

1.ベースとモップ洗浄トレイを取り外して清掃します。



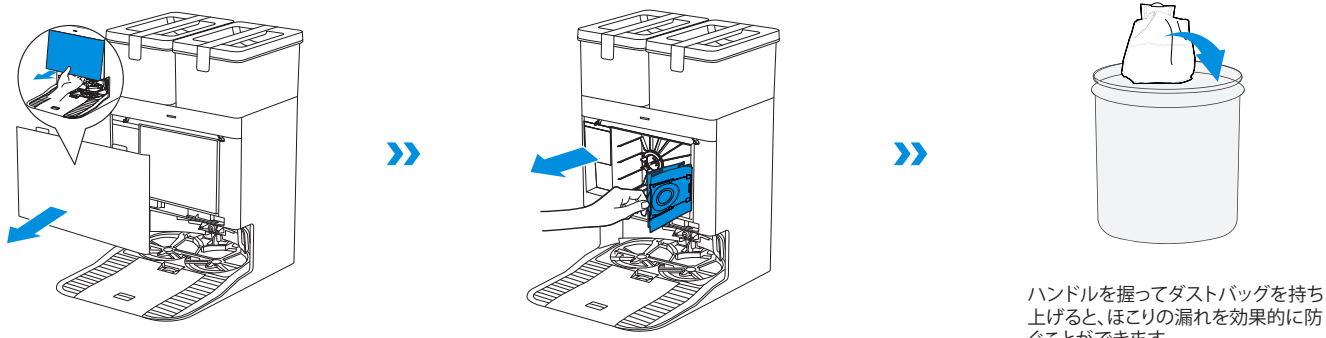
2.清掃したベースとモップ洗浄トレイを取り付けます。



注記： スムーズに操作するために、モップ洗浄トレイを正しく取り付けてください。

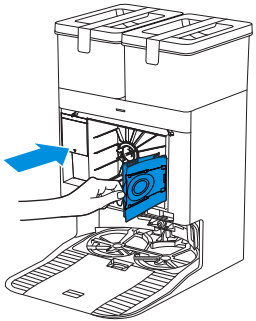
❻ ダストバッグ

1.使用済みのダストバッグは廃棄してください。

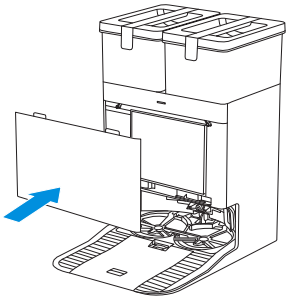


ハンドルを握ってダストバッグを持ち上げると、ほこりの漏れを効果的に防ぐことができます。

2.乾いた布で集塵キャビンを清掃し、新しいダストバッグを入れます。

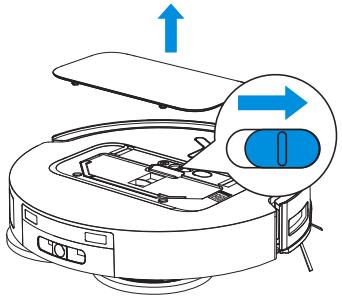


3.ダストキャビンカバーの上部の取り付け部を合わせ、下部を押して正しく取り付けます。



❼ 収納

保管する前に、DEEBOT を完全に充電し、電源をオフにしてください。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5 ヶ月ごとに充電してください。



ロボットの電源がオフの状態では充電できないのでご注意ください。

- DEEBOT が動作していないときは、電源をオンにして充電したままにしておくことをお勧めします。
- バッテリーが過放電したり、長期間使用しなかった場合、DEEBOT が充電できなくなる可能性があります。サポートが必要な場合は、ECOVACS にお問い合わせください。バッテリーを自分で分解しないでください。
- 製品を長期間使用しない場合は、水タンクとモップを乾燥した状態に保ってください。

トラブルシューティング

以下の問題については、対応する解決策を参照してください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
1	DEEBOT が ECOVACS HOME アプリに接続できません。	入力された Wi-Fi ユーザー名またはパスワードが間違っています。	正しい Wi-Fi ユーザー名とパスワードを入力してください。
		DEEBOT が自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にありません。	DEEBOT が自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にあることを確認してください。 DEEBOT をできるだけルーターの近くに設置してください。
		DEEBOT が設定状態になっていません。	RESET ボタンを押して再度接続してください。失敗した場合は、アプリの指示に従って接続をリセットしてください。
		Wi-Fi リストに自宅の Wi-Fi が表示されません。	1.Wi-Fi 名に特殊文字が含まれていないか確認してください。! @#& ¥ %/\ などの特殊文字は使用しないでください。 2.5GHz ネットワークを使用しないでください。
		誤ったアプリがインストールされています。	ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてインストールしてください。
2	マップが紛失した。	掃除中にロボットを動かすと、マップが失われる可能性があります。	ロボットをステーションに戻してマップを回復してください。 ECOVACS HOME アプリのマップ管理で保存したマップを見つけて、「このマップを使用する」をタップして取得します。 この問題が解決しない場合は、マッピングを再起動してください。
3	アプリで家具マップを作成できません。	掃除中に DEEBOT を移動すると、マップが失われる可能性があります。	掃除中は DEEBOT を動かさないでください。
		自動掃除が完了していない。	掃除後、DEEBOT が自動的にステーションに戻ることを確認してください。
4	使用中にサイドブラシが外れてしまいます。	サイドブラシが正しく取り付けられていません。	サイドブラシがカチッと所定の位置に収まっていることを確認してください。
5	信号が見つからない。ステーションに戻ることができない。	ステーションの位置が正しくない。	[クイックスタート] セクションの指示に従って、ステーションを正しく設置してください。
		ステーションの電源が切れているか、移動されています。	ステーションが電源に接続されているか確認してください。ステーションを移動しないでください。
		DEEBOT が OMNI ステーションから掃除を開始しません。	DEEBOT は OMNI ステーションから掃除を開始することをお勧めします。
		ドッキングルートがブロックされています。たとえば、ステーションが設置されている部屋のドアが閉まっている場合などです。	ルートを空けておいてください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
6	ロボットが掃除が終わる前にステーションに戻ります。	部屋が広いため、ロボットは充電のために戻る必要がある。	自動再開機能を有効にしてください。詳細については、アプリの指示に従ってください。
		非常に複雑な家のレイアウトでは、掃除の効率が低下し、掃除が不完全になる可能性があります。	家のレイアウトをシンプルにしてください。
7	ロボットが充電できない。	DEEBOT がオンになっていません。	DEEBOT をオンにしてください。
		ロボットの充電接点がステーションの充電接点と完全に接触していません。	ロボットの充電接点がステーションの充電接点に接続され、⏻が点滅することを確認してください。DEEBOT と OMNI ステーションの充電接点が汚れていないか確認してください。[定期メンテナンス] セクションの指示に従って、これらの部品を清掃してください。
		ステーションに電源が接続されていません。	OMNI ステーションが電源に接続されていることを確認してください。
		ステーションのベースが正しく設置されていません。	正しい設置方法については、[クイックスタート] セクションを参照してください。
8	ロボットが掃除中に非常に大きな音を立てる。	メインブラシ / サイドブラシが絡まっているか、ダストビン / フィルターが詰まっています。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストビン、フィルターなどは定期的に清掃することをお勧めします。
		ロボットが強力モードになっている。	標準モードに切り替えてください。
9	DEEBOT が動作中に立ち往生し停止します。	DEEBOT が床上の物体（電線、カーテン、カーペットのフリンジなど）に絡まっています。	ロボットは自力で解放を試みますが、試行が失敗した場合は、手動で障害物を取り除いて再起動してください。
		ロボットが、同じくらいの高さの入口を持つ家具の下で動けなくなる可能性がある。	家具の高さを上げるか、物理的な障壁を設置するか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界を設定してください。
		DEEBOT が狭いエリアで立ち往生しています。	家を整理し、物理的な障壁を設置するか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界を設定してください。
10	清掃中、ロボットは無秩序な経路、偏った動き、同じ場所の繰り返し清掃、小さなエリアの見落としなどの問題に遭遇する可能性があります。（一時的に清掃していない広いエリアがある場合、DEEBOT が自動的に見落としたエリアを清掃します。）DEEBOT が掃除済みの部屋に再度入ることがありますが、これは繰り返し掃除しているのではなく、見逃したエリアを見つけている可能性があります。	床に置かれたワイヤーやスリッパなどの物体は、DEEBOT の動きを妨げます。	清掃前に、床に散らばった電線やスリッパなどをできるだけ片付けてください。掃除中に見落としがあった場合、ロボットが自動的に修正します。ロボットを移動させたり、進路を塞いだりするなどの妨げる行為はお控えください。
		DEEBOT が段差、敷居、ドアバーを乗り越えるとき、駆動輪が滑ってしまい、家全体の環境認識に影響を与える可能性があります。	該当エリアのドアを閉めて、別途清掃することをお勧めします。掃除が終わると、ロボットは元の位置に戻ります。
		ワックスをかけたばかりの床や磨かれた床、または滑らかなタイルの上では、駆動輪と床の間の摩擦が少なくなることがある。	ワックスが乾いてから掃除を開始してください。
		家の間取りによっては、ロボットが進入できないエリアがある場合があります。	ロボットが清掃するエリアに入れるように、家を整理してください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
11	遠隔操作に遅延が発生します。	Wi-Fi 信号が弱いため、ビデオの読み込みが遅くなります。	DEEBOT は Wi-Fi 信号が良好な場所で使用してください。
12	OMNI ステーションに戻った後、DEEBOT がダストボックスを空にしません。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ回収機能がオンになっていません。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ回収機能をオンにしてください。
		ステーションにダストバッグが取り付けられていません。	ダストバッグを取り付け、集塵キャビンを閉じてください。
		ロボットを手動でステーションに戻すと、自動ゴミ回収機能が作動しない場合があります。	DEEBOT が自動的に OMNI ステーションに戻るようにしてください。手動で移動させないでください。
		おやすみモードでは、DEEBOT は OMNI ステーションに戻ってもゴミを排出しません。	ECOVACS HOME アプリで「Do Not Disturb」モードをオフにするか、手動でゴミ収集を開始してください。
		上記の原因が該当しない場合、ステーションの部品に異常がある可能性があります。	サポートが必要な場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
13	自動ゴミ回収に失敗しました。	ステーションがゴミ回収の効率低下を検出しました。	[定期メンテナンス] セクションに従ってダストバッグを交換し、集塵キャビンを閉じてください。アプリでダストバッグが満杯と表示されても、実際に満杯でない場合は、再度ダストバッグを装着できます。
		ダストボックスの排出口が異物でふさがれている可能性がある。	ダストボックスを取り外し、排出口の異物を取り除いてください。
14	集塵キャビンの内側が汚れています。	微細な粒子がダストバッグを通過し、集塵キャビンの内側に蓄積されます。	集塵キャビンの内側を清掃してください。
		ダストバッグが破損しています。	ダストバッグを確認し、交換してください。
		ダストバッグが正しく取り付けられていません。	ダストバッグを正しく取り付けてください。
		集塵キャビンのカバーが閉じられていません。	集塵キャビンのカバーがきちんと閉まっているか確認してください。
15	DEEBOT の動作中に粉塵漏れが発生します。	ダストボックスの排出口が異物でふさがれている可能性がある。	ダストボックスを取り外し、排出口の異物を取り除いてください。
16	モップパッドプレートが回転しません。	モップパッドプレートが正しく取り付けられていません。	モップパッドプレートを正しく取り付けてください。カチッという音がすれば、正しく取り付けられたことを示します。
		モップパッドプレートが異物で詰まっています。	異物を取り除いてください。
17	ロボットがステーションの指示に応答しません。	DEEBOT がステーション内にいません。	DEEBOT がステーション内にあることを確認してください。

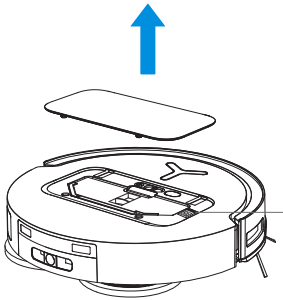
番号	故障	考えられる原因	解決策
18	駆動輪が動かなくなっています。	駆動輪が異物によって絡まったり、詰まったりしています。	駆動輪を回転させたり押したりして、異物による絡まりや詰まりがないか確認してください。異物が見つかった場合は、速やかに清掃してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
19	モップ洗浄トレイが水で満たされ、排水できません。このことを警告する音声プロンプトが流れます。	汚水タンクが正しく取り付けられていません。	汚水タンクを押し込んで、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクのシーリングプラグが正しく取り付けられていません。	2 つのシーリングプラグが正しく取り付けられていることを確認してください。
		ステーションが正常に排水できません。	アプリの指示に従って、ステーションが正常に排水できるか確認してください。排水に失敗した場合は、汚水タンクとステーションの間に異物がないか確認してください。
		モップ洗浄トレイの吸引口が異物で詰まっています。	モップ洗浄トレイの吸引口に異物がないことを確認してください。
		モップ洗浄トレイが汚れています。	モップ洗浄トレイを流水で洗浄してください。
		モップ洗浄トレイベースに水がないとき、フローティングボールが詰まっていないか確認してください。	モップ洗浄トレイを取り出し、フローティングボールを元の位置に戻してください。
		上記の解決策をすべて試しても音声アラートが消えません。	ステーションの電源をオフにしてから再度オンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

推奨される解決策を試しても問題が解決しない場合は、弊社のカスタマーサービスにお問い合わせください。

技術仕様

型番	**DDX57**		
定格入力	20V ⎓ 2A	充電時間	約 4.5 時間
ステーションモデル	**CH2453B**		
定格入力	100V ～ 50-60Hz	定格出力	20V ⎓ 2A
定格入力電流（充電時）	1A	電流（（ゴミ収集時）	4.5A
電流（温水洗浄用モップ）	10A	電流（モップ乾燥時）	1.2A

無線モジュールの出力は 100mW 未満です。
注記：製品の継続的な改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。
詳しいアクセサリー情報は https://www.ecovacs.com でご覧ください。



モバイルカメラを使用して QR コードをスキャンし、ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE
SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or metal capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below -5℃/23℉ or above 40℃/104℉).
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or

any item that may clog the Appliance.

14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
19. The lithium battery type suitable for CH2453B is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 4,800mAh.The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
27. Do not use the OMNI Station if it is damaged.

The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.

28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
33. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2453B provided with the Appliance.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

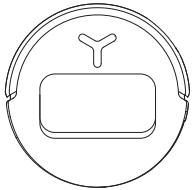
Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

	Caution: hot surface
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

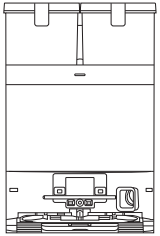
The remote surveillance is for the absolute private use of non-public, private owned places for the pure self-protection and single control intended only. Please be aware of the local data protection based legal obligations in case of use. No surveillance of public places, especially with clandestine intent and/or on the part of the employer without justified reasons. Such not justified use is in the risk and responsibility of the user only.

Package Contents

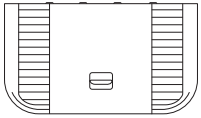
1 PACKAGE CONTENTS



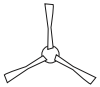
Robot



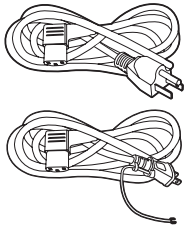
OMNI Station (with Dust Bag)



Base



Side Brush



Power Cord

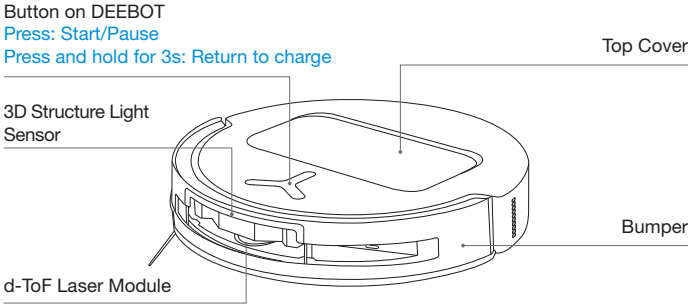


Instruction Manual

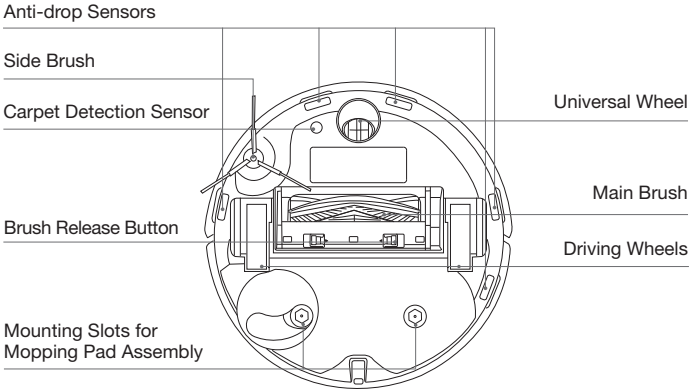
Note: Figures and illustrations are for reference only and may differ from actual product appearance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

2 PRODUCT DIAGRAM

1. Robot Front View

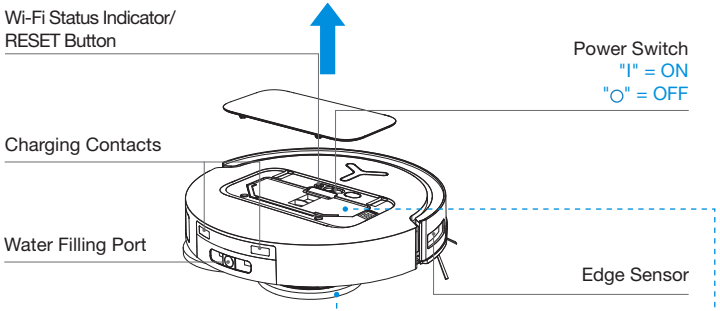


2. Robot Bottom View

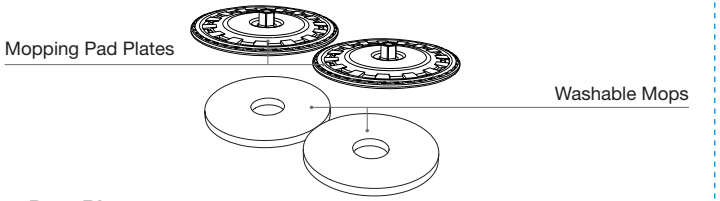


3. Under the Cover

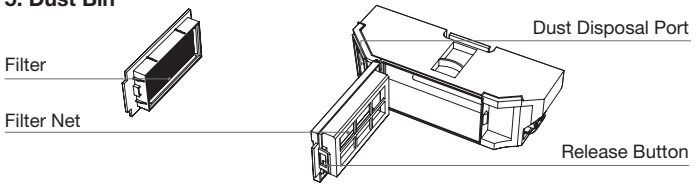
RESET Button
Network Setup: Press the RESET Button and follow the voice prompt to set up the network.
Restore to default settings: Press and hold the RESET button for 5 seconds, and you will hear a prompt sound. After that, the startup music will play, and the robot will be restored to default settings.



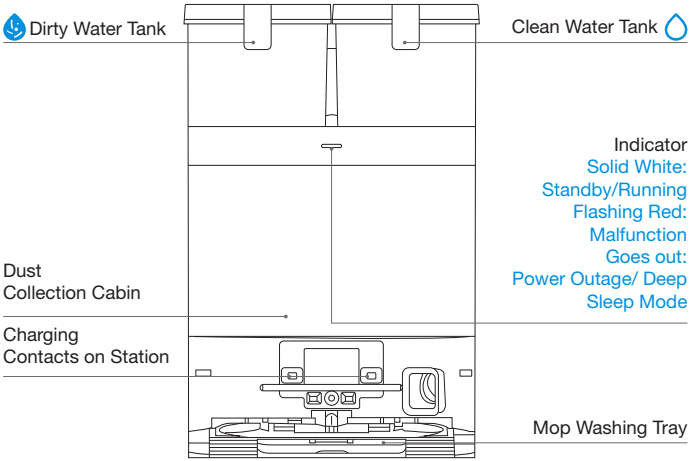
4. Mopping Pad Assembly



5. Dust Bin



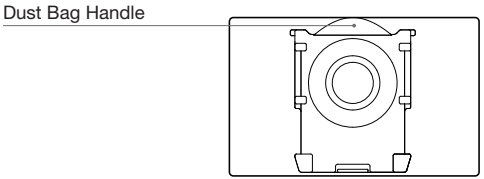
6. Station Front View



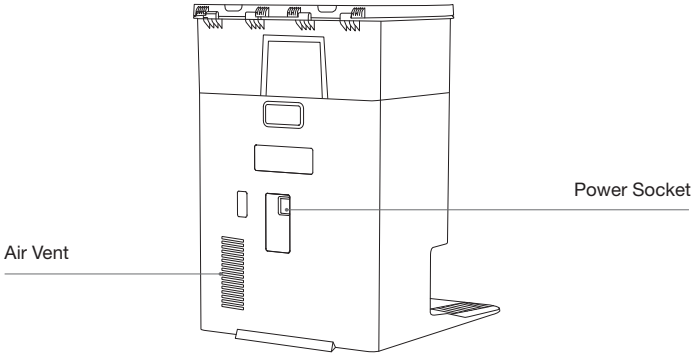
Note:

- If the Indicator flashes red, go to the ECOVACS HOME App for details about the malfunction.
- If the robot cannot charge, wipe the corresponding charging contacts on the OMNI Station with a dry cloth.

7. Dust Bag



8. Station Back View

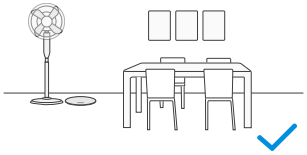


9. Sensors

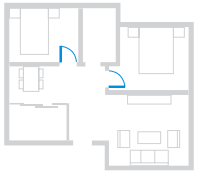
Product Diagram	Functional Description
d-ToF Laser Module	Laser Ranging is applied to measure the distance between the robot and surrounding objects based on the time difference of reflection, allowing the module to map against the objects around while the robot is moving. The detection range is 10 m.
3D Structure Light Sensor	Infrared Ranging and similar triangles are applied to measure the distance between the surrounding objects and the robot. When the sensor detects an object nearby, the robot will automatically take a turn to avoid bumping into the object. The detection range is 0.4 m.
Anti-drop Sensors	Infrared Ranging is applied by the sensor at the bottom of the robot to measure the height between the bottom of the robot and the ground. When there is a height difference, for example, a height above 55 mm on white-colored ground or a height above 30 mm on black-colored ground, the robot will stop advancing, fulfilling the feature of Anti-drop.
Carpet Detection Sensor	The ultrasound probe can emit ultrasonic waves with a frequency of 300KHZ. The energy of the ultrasonic waves can be absorbed by carpets. If the reflected energy is below the threshold, the robot will recognize the presence of a carpet. According to ECOVACS lab tests, currently, over 50 types of carpets available on the market can be identified.
Anti-collision Sensor	When the transmitted signal is blocked by an object, the signal receiver will not be able to receive it. With this principle, the robot will avoid obstacles when encountering them.
Edge Sensor	With Infrared Ranging, the robot can detect the distance between itself and objects on its right side. When there is a wall or an obstacle on the right side, the robot will perform edge cleaning to avoid missed spots or collisions.
Microphone	Human voices cause vibrations in the diaphragm of the microphone through air. As a result, the microphone utilizes the collection and algorithms of sound models to achieve sound recording and voice control of the robot to complete specific tasks. The effective wake-up distance is 5 m.

NOTES BEFORE CLEANING

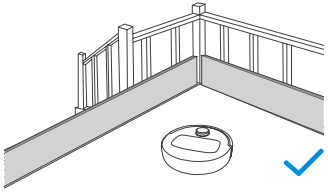
❶ Before Cleaning



Tidy up the area to be cleaned by putting furniture, such as chairs, in their proper place.



During the first use, make sure each room door is open to help the robot fully explore your home.



It may be necessary to place a physical barrier at the edge of a drop to prevent the robot from falling over the edge.



Put away objects including cables, cloths, slippers, etc. on the floor to improve the cleaning efficiency.



Tuck the edges of tasseled rugs underneath before cleaning.



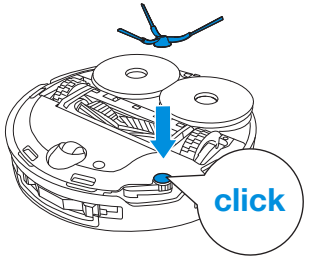
Please do not stand in tight spaces such as doorways and hallways, and make sure not to block the robot's path when it's identifying areas.

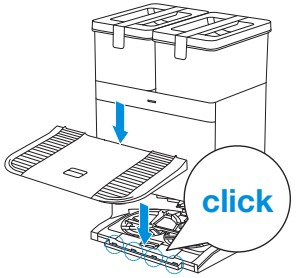
❷ Quick Start

Before using, please remove all protective materials from the robot and OMNI Station.

1. Installation of Robot and Station

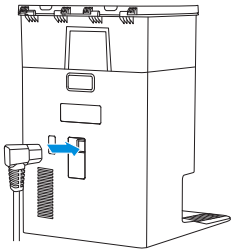
The sound of "Click" indicates proper installation.

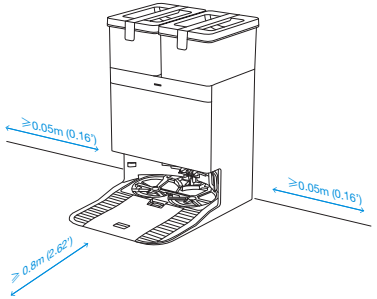




2. Power Cord Connection and Station Placement

Place the Station against a wall on a level, hard ground. Ensure there are no objects within 0.05 m on either side or 0.8 m in front of it.



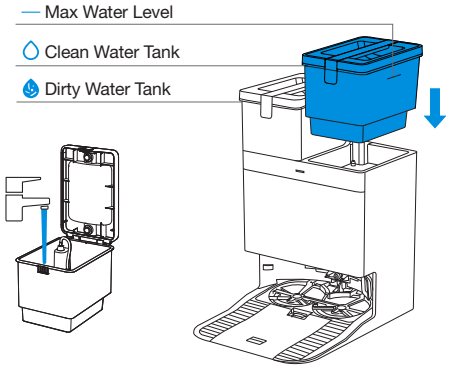


Note:

- If there are reflective objects, such as mirrors, or reflective skirting lines near the Station, cover them from the ground up to the height of 14 cm.
- Do not place the Station under direct sunlight.
- Place the Station in a location with a strong Wi-Fi signal.

3 Fill Clean Water Tank

Take out the Clean Water Tank and fill it up to the max water level. After filling the tank, lock its cover and put it back to the Station.



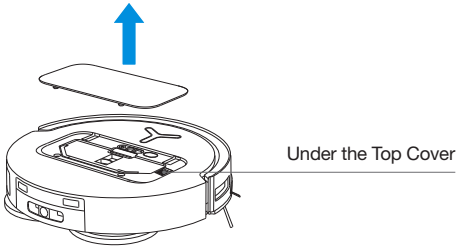
Note:

- Use a clean, dry cloth to wipe off the water on the surface of the tank before putting it in place.
- Please lock the top covers of both water tanks tightly before use.
- Water marks, if any, in the water tanks are from the function test. Please rest assured to use.
- Please use only the official ECOVACS cleaning solution to avoid potential machine malfunctions. To purchase, please visit the ECOVACS HOME App or the ECOVACS official website.

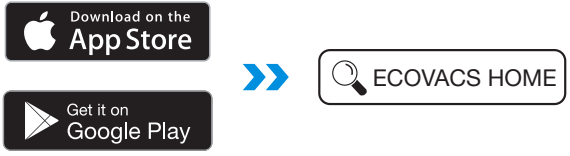
4 Download the ECOVACS HOME App

Download ECOVACS HOME App to enjoy more features.

You may scan the QR Code on the robot to download the App.



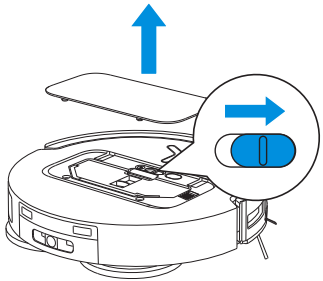
Or search for the ECOVACS HOME in your mobile app store to download the App.



Note: Follow the guide of the App to register, log in, and connect the product with the App.

5 Power on DEEBOT

Turn on the power switch under the robot cover (**"I" = ON, "○"= OFF**), and place the robot in front of the Station that is connected to power supply.



6 Connect DEEBOT with App

Network Interface Information

Name	Description
WI-FI*	Facilitate data transfer between the app and the robot, enabling control of the robot through the app.
ECOVACS HOME App	ECOVACS products offer smart functions such as network setup, mapping, and cleaning mode selection (specific to each product). To utilize these features, users need to download and use the official ECOVACS HOME App.

* The DEEBOT series robotic vacuums are designed for domestic cleaning scenarios. A home Wi-Fi network is required for operation, and anti-DDOS protection needs to be configured by users through route settings.

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as that of your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

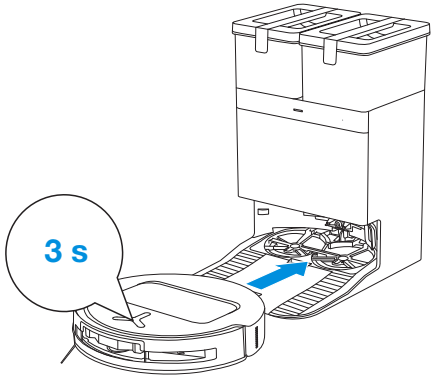
Wi-Fi Indicator Light

	Quick Flashing White	Connecting
	Slow Flashing White	Disconnected from Wi-Fi
	Solid White	Connected to Wi-Fi

Please note that to access smart features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (features may vary depending on the product), you'll need to download and use the ECOVACS HOME App, which receives constant updates. You must agree to our Privacy Policy and User Agreement before we can process some of your basic and necessary information and enable you to operate the product via the ECOVACS HOME App. Without your agreement, some of the aforementioned smart features cannot be accessed through the ECOVACS HOME App. Nevertheless, you can still use the product's basic functions for manual operation.

7 Charge DEEBOT

Use the ECOVACS HOME App or Voice Control to recall the robot, or press and hold the Button on DEEBOT ⏻ for 3 seconds, to allow the robot to dock for charging.



Note:

- The robot cannot be charged when the power is turned off.
- When the robot is not working, it is recommended to keep it powered ON and charging.
- It is recommended that the robot start cleaning from the Station. Do not move the Station while cleaning.

8 Operate DEEBOT

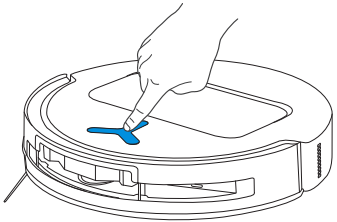
1. Start Mapping

When creating a map for the first time, please follow the robot to help resolve some minor issues.
For instance, if the robot gets stuck in a narrow space under furniture, you may refer to the following solutions:
① Raise the furniture to create a passage for the robot if feasible.
② Cover the bottom of the furniture to prevent the robot from trying to enter.
③ Set up Virtual Boundary in the App to prevent the robot from entering.

2. Start Cleaning

- The robot's water tank is automatically refilled through the Station. Manual refilling is not needed.
- When mopping, the robot will recognize floor types and is able to lift mops automatically when encountering carpets. Please do not use the robot on shaggy rugs or carpets with fibres longer than 10 mm. It is recommended to fold up the shaggy rugs with fibres longer than 10 mm during the cleaning process, or set the shaggy carpeted area as a No-Entry Zone by setting Virtual Boundary in the ECOVACS HOME App.

Before cleaning for the first time, please make sure the robot is in the Station and fully charged. Tap ⏻ on the robot to start. You can also use the ECOVACS HOME App or Voice Control to start.



Note:

- Do not frequently remove washable mopping pads.
- Do not use a rag or any other object to scratch the Moping Pad Plates.
- When the ECOVACS HOME App prompts that the mops need to be replaced, please replace them in time. Explore more accessories on ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com.

3. Pause

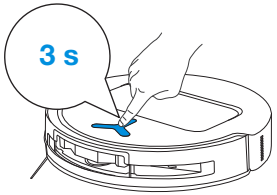
Tap ⏻ on the robot to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App or Voice Control to pause the robot.

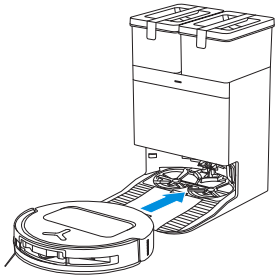
4. Wake up

After pausing for a while, all indicator lights on the robot will go out. To wake up the robot, press ⏻.

5. Return to Station

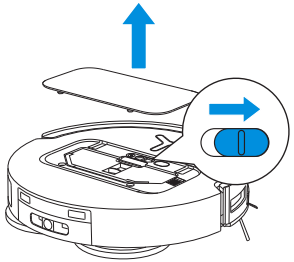
Use the ECOVACS HOME App or Voice Control to recall the robot, or press and hold the Button on DEEBOT ⏻ for 3 seconds, to allow the robot to dock for charging.





6. Deep Sleep Mode

The robot will enter deep sleep mode to protect the battery if it stays outside the Station for about 5 h. Please switch OFF and ON to wake up the robot.



Regular Maintenance

❶ Maintenance Frequency

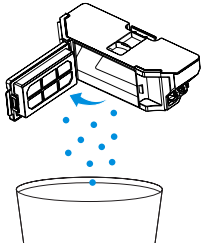
To ensure optimal performance, maintain and replace parts at the following frequencies:

Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mops	/	Every 1-2 months
Dust Bag	/	When App prompts
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
3D Structure Light Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on DEEBOT Charging Contacts on OMNI Station d-ToF Laser Module	Approx. every month	/
Clean Water Tank	Every 3 months	/
Dirty Water Tank	Every month	/
Dust Collection Cabin	Every month	/
Body and Bottom of the Station	Every month	/

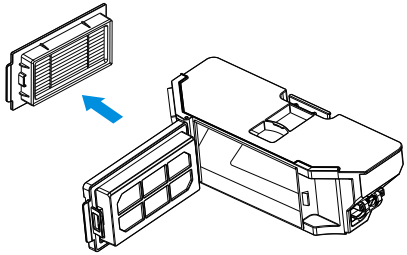
Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com.

❷ Maintain Dust Bin

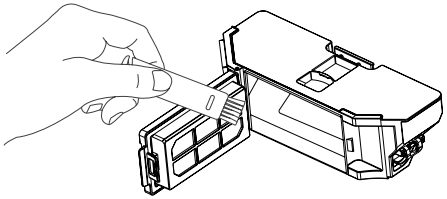
1. Open the cover and empty the bin.



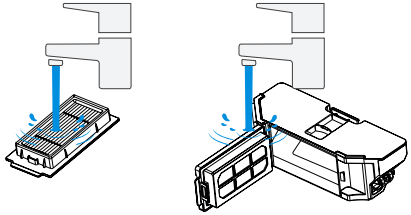
2. Take out the Filter.



3. Clean the Dust Bin.

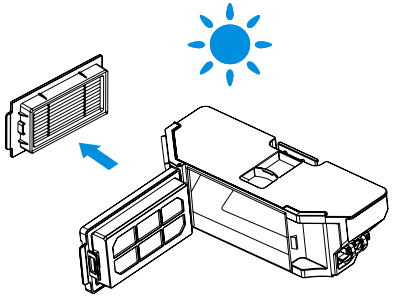


4. You may wash the Dust Bin and the Filter with running water. Shake off the remaining water from the parts.



Note:
- Please rinse the Filter with water.
- Do not use finger or brush to clean the Filter.

5. Dry by airing.

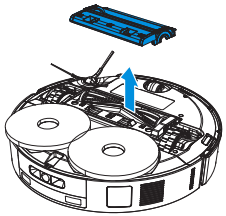


Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com.

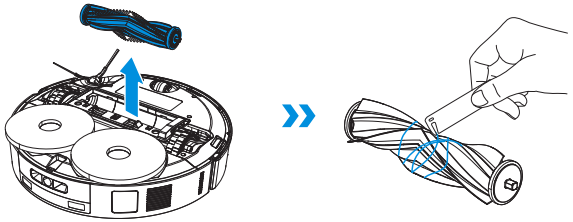
❸ Main Brush and Side Brush

Clean the Main Brush

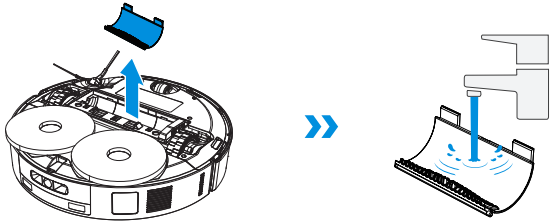
1. Remove the cover on the Main Brush.



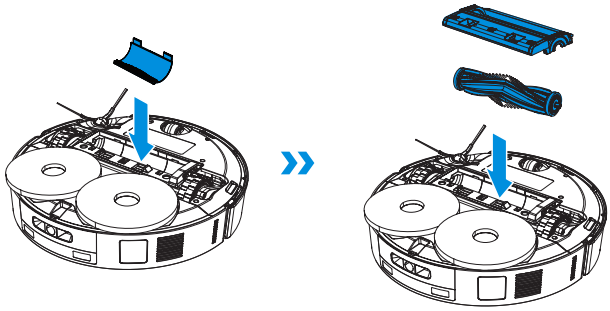
2. Remove and clean the Main Brush.



3. Remove and clean the Brush Comb.

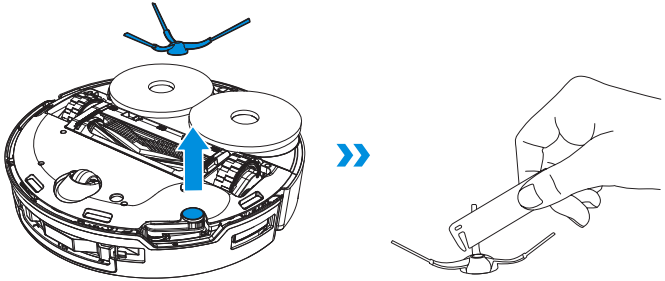


4. Install the Brush Comb,the Main Brush and its cover.



Clean the Side Brush

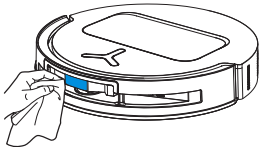
Remove and clean the Side Brush.



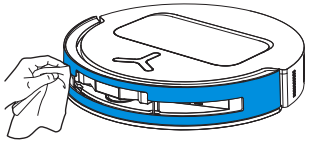
Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at https://www.ecovacs.com

4 Maintain Other Components

Clean the Sensor Lens

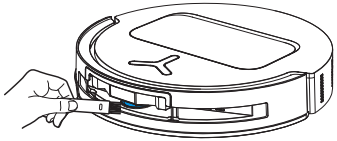


Clean the Bumper



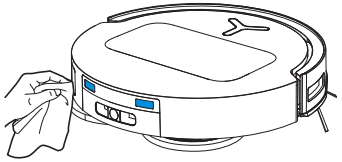
Note: Clean the sensor lens and the Bumper with a dry cloth. To prevent water damage, avoid using a wet cloth.

Clean the d-ToF Laser Module



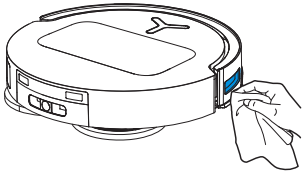
Note: Rotate the Module lens to the front and clean it gently with a soft brush.

Clean the Charging Contacts

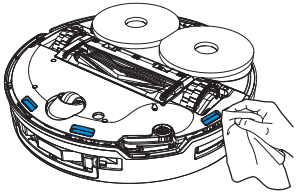


Note: Wipe the contacts with a dry cloth. To prevent water damage, avoid using a wet cloth.

Clean the Edge Sensor

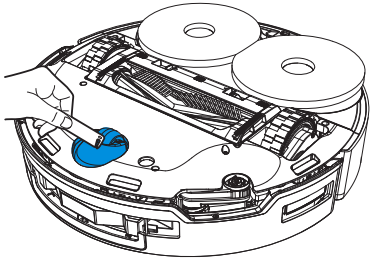


Clean the Anti-drop Sensors

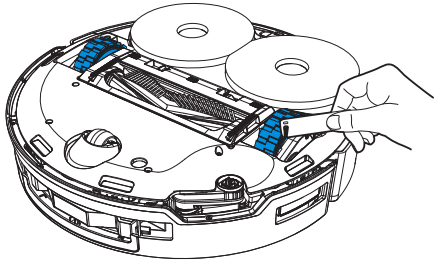


Note: Clean the sensor lens and the Bumper with a dry cloth. To prevent water damage, avoid using a wet cloth.

Clean the Universal Wheel

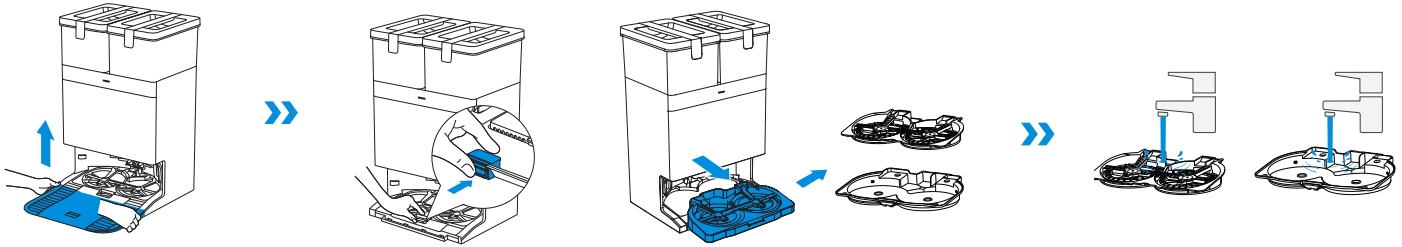


Clean the Driving Wheels

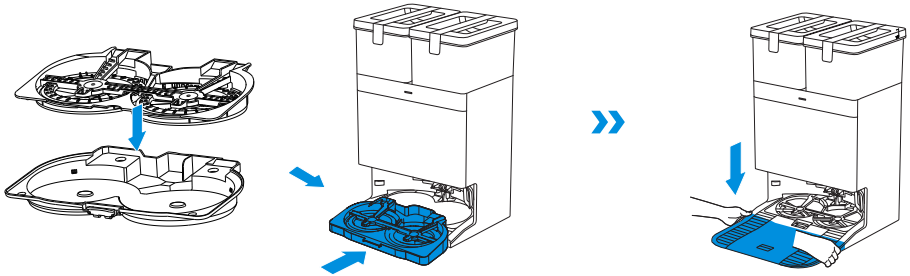


⑤ Mop Washing Tray

1. Take off the Base and the Mop Washing Tray and clean them.



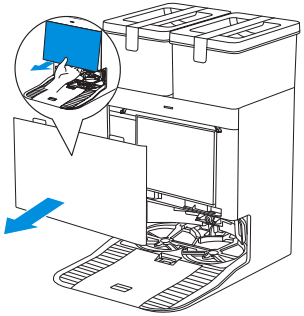
2. Install the cleaned Base and Mop Washing Tray.

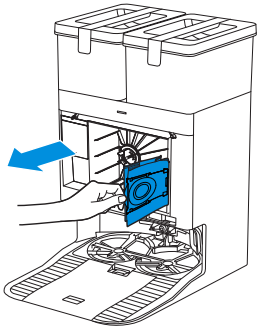


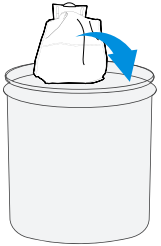
Note: Please install the Mop Washing Tray properly for smooth operation.

6 Dust Bag

1. Discard the used Dust Bag.

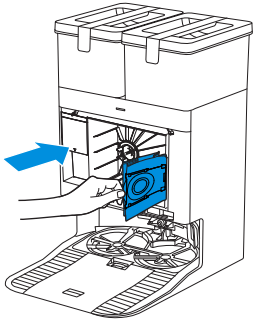




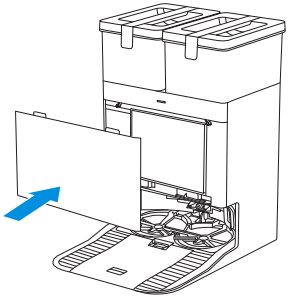


Hold the handle to lift out the Dust Bag, which can effectively prevent dust leakage.

2. Clean the Dust Collection Cabin with a dry cloth and put a new Dust Bag in.

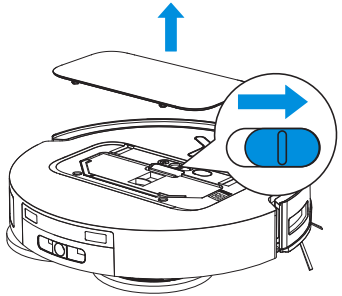


3. Place the fit joints at the upper edge of the Dust Cabin cover and press the lower part of it to install it properly.



7 Storage

Please fully charge and switch OFF DEEBOT before storage. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharge.



Please note that the robot cannot charge when powered OFF.

- When DEEBOT is not working, it is recommended to keep it powered ON and charging.
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, DEEBOT may not be able to be charged. Please contact ECOVACS for help. Do not disassemble the battery by yourself.
- If you do not use the product for a long time, keep the water tanks and the mops dry.

TROUBLESHOOTING

For the following possible issues, refer to the corresponding solutions

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	DEEBOT is not able to connect to the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi username or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		DEEBOT is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure DEEBOT is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		DEEBOT is not in the configuration state.	Press the RESET button and try to connect again. In case of failure, follow the App to reset the connection.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like ! @#& ¥ %/\ 2. Do not use a 5 Ghz network.
		Incorrect App installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
2	The map is lost.	The map might be lost if you move the robot while cleaning.	Move the robot back to the Station to retrieve the map. Find the saved map in Map Management on the ECOVACS HOME App and tap “Use This Map” to retrieve it. If this issue persists, please restart mapping.
3	Unable to create the furniture map in the App.	Move DEEBOT when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move DEEBOT.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure that DEEBOT automatically returns to the Station after cleaning.
4	The Side Brush drops out of place during use.	The Side Brush is not properly installed.	Make sure the Side Brush clicks into place.
5	No signal found. Unable to return to the Station.	The Station is incorrectly placed.	Please place the Station correctly according to the instructions in the [Quick Start] section.
		The Station is out of power or moved.	Check whether the Station is connected to power supply. Do not move the Station.
		DEEBOT does not start cleaning from the OMNI Station.	It is recommended that DEEBOT starts cleaning from the OMNI Station.
		The docking route is blocked. For example, the door is closed to the room where the Station is placed.	Keep the route clear.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
6	The robot returns to the Station before it has finished cleaning.	The room is so large that the robot needs to return to recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the App instructions.
		In highly complex home layouts, cleaning efficiency may decrease, possibly resulting in incomplete cleaning.	Simplify your home layout.
7	The robot is unable to charge.	DEEBOT is not switched ON.	Switch ON DEEBOT.
		The robot's charging contacts are not fully in contact with the Station's.	Make sure that the robot's Charging Contacts have connected to the Station's Charging Contacts and ⏻ flashes. Check whether DEEBOT's and OMNI Station's Charging Contacts are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the [Regular Maintenance] section.
		The Station is not connected to power supply.	Make sure the OMNI Station is connected to power supply.
		The Base of the Station is not installed properly.	Refer to the [Quick Start] section for correct installation.
8	The robot is very loud during cleaning.	The Main Brush/Side Brush is tangled, or the Dust Bin/Filter is blocked.	It is recommended to clean the Main Brush, Side Brush, Dust Bin, Filter, etc. regularly.
		The robot is in Strong Mode.	Switch to Standard Mode.
9	DEEBOT gets stuck while working and stops.	DEEBOT is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	The robot will try various ways to free itself. If its attempts fail, manually remove the obstacles and restart.
		The robot might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please raise the furniture, set a physical barrier, or set a Virtual Boundary via the ECOVACS HOME App.
		DEEBOT is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a Virtual Boundary via the ECOVACS HOME App.
10	During cleaning, the robot may encounter issues like a disorderly route, biased movement, repeated cleaning over the same spots, and missing small areas. (If there is a large area that has not been cleaned temporarily, DEEBOT will automatically clean the missed area. Sometimes DEEBOT will re-enter a cleaned room, which may not be a repeated cleaning, but DEEBOT finding any missed area.)	Objects such as wires and slippers placed on the ground block DEEBOT.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as possibly can. If there is any area missed during cleaning, the robot will correct it automatically. Please refrain from interfering (such as moving the robot or blocking its route).
		The Driving Wheels may slip on the ground when DEEBOT climbs steps, thresholds, and door bars, which can affect its judgement of the entire home environment.	It is recommended to close the door of the affected area and clean it separately. After cleaning, the robot will return to its starting location.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the Driving Wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to variations in home layouts, some areas cannot be entered by the robot.	Tidy up your home to ensure that the robot can enter the areas to be cleaned.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
11	Delay in remote control.	The Wi-Fi signal is poor, causing the video loading to be slow.	Use DEEBOT in areas with good Wi-Fi signal.
12	After returning to the OMNI Station, DEEBOT does not empty its Dust Bin.	The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME App.	Turn on the Auto-Empty function in the ECOVACS HOME App.
		Dust Bag is not installed in the Station.	Install the Dust Bag, and close the Dust Collection Cabin.
		Manually moving the robot back to the Station may not trigger the Auto-Empty function.	It is recommended to allow DEEBOT return to the OMNI Station on its own. Please do not manually move it.
		In Do Not Disturb mode, DEEBOT will not empty the dust after returning back to the OMNI Station.	Turn off Do Not Disturb in the ECOVACS HOME App or manually start dust-emptying.
		If the above possible causes have been ruled out, components of the Station may be abnormal.	Please contact customer service for assistance.
13	Auto-Empty unsuccessful.	The Station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the Dust Bag according to the [Regular Maintenance] section and close the Dust Collection Cabin. If the Dust Bag is not full when prompted by the App, you can put it back again.
		The outlet of the Dust Bin is blocked by foreign objects.	Remove the Dust Bin and clear the foreign objects on the outlet.
14	The inner side of the Dust Collection Cabin is dirty.	Fine particles pass through the Dust Bag and accumulate on the inner side of the Dust Collection Cabin.	Clean the inner side of the Dust Collection Cabin.
		The Dust Bag is broken.	Check and replace the Dust Bag.
		The Dust Bag is not properly installed.	Please install the Dust Bag properly.
		The Dust Container Cover is not closed.	Please check if the Dust Container Cover is closed properly.
15	Dust leakage occurs while DEEBOT is working.	The outlet of the Dust Bin is blocked by foreign objects.	Remove the Dust Bin and clear the foreign objects on the outlet.
16	Mopping Pad Plates will not rotate.	The Mopping Pad Plates are not correctly installed.	Please install the Mopping Pad Plates correctly. A sound of Click indicates properly installation.
		The Mopping Pad Plates are blocked by foreign objects.	Clear the foreign objects.
17	The robot does not respond to the Station's instructions.	DEEBOT is not in the Station.	Please make sure DEEBOT is in the Station.

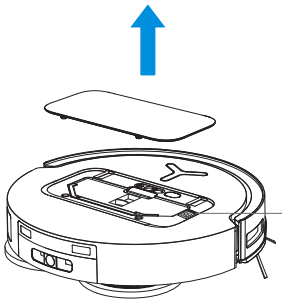
No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
18	The Driving Wheel is stuck.	The Driving Wheel is entangled or stuck due to foreign objects.	Rotate and press the Driving Wheel to check for any wrapping or obstruction by foreign objects. If any foreign objects are found, please clean them promptly. If this issue persists, please contact customer service for assistance.
19	The Mop Washing Tray is full of water and can't be emptied. A voice prompt is broadcast to alert you about this.	The Dirty Water Tank is not properly installed.	Tap down on the Dirty Water Tank to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the Dirty Water Tank are not installed properly.	Make sure that the two sealing plugs are properly installed.
		The Station cannot drain water normally.	Follow the App instructions to see if the Station can drain properly. If draining attempts fail, please check for possible foreign objects between the Dirty Water Tank and the Station.
		The suction port of the Mop Washing Tray is blocked by foreign objects.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the Mop Washing Tray.
		The Mop Washing Tray is dirty.	Cleaning the Mop Washing Tray with running water.
		Check if the Floating Ball gets stuck when there is no water in the Mop Washing Tray Base.	Take out the Mop Washing Tray to put the Floating Ball back in place.
		The voice alert persists after all the above solutions are tried.	Power off and on the Station. If this issue persists, please contact customer service for assistance.

Please contact our customer service for assistance if the problem persists despite the recommended solutions.

TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	**DDX57**		
Rated Input	20V ⎓ 2A	Charging Time	about 4.5h
Station Model	**CH2453B**		
Rated Input	100V ~ 50-60Hz	Rated Output	20V ⎓ 2A
Rated Input Current(Charging)	1A	Power(Emptying)	4.5A
Power(Hot Water Washing Mop)	10A	Power(Mop-drying)	1.2A

Output power of the wireless module is less than 100mW.
Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.
Explore more accessories at https://www.ecovacs.com.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.
No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-2425-0131